

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調書

5-I-2

5-I
-2

| | | | | |
|---------------------------|------------------------|--|------|---|
| 章 | 第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり | | 取組項目 | ネガティブイメージの払拭 |
| | 節 | I. 佐渡金銀山のブランドイメージの確立 | | |
| 事業(施策)名 | 2 正確な史実の普及 | | 事業主体 | 佐渡市世界遺産推進課 |
| | 事業実施期間 | H28~R4 | | 関連団体 県文化行政課、佐渡市企画課、佐渡市地域振興課、佐渡市観光振興課、佐渡を世界遺産にする会 |
| 事業概要 | 【事業目的】 | ○無宿人と罪人が混同されるなど、誤認されている史実や鉱山独特のネガティブイメージの払拭に向けて、正確な史実の普及を図る。 | | |
| | 【事業内容】 | ○各種情報媒体による積極的な情報発信の他、旅行・交通事業者、観光・世界遺産ガイド等の講習会等において正確な史実の普及を図る。 | | |
| 30 事業 計画 と 実績 | 【30年度計画】 | ●出前授業、出張説明などで史実に忠実な説明を実施する。 ●ネガティブイメージを払拭するような、今後リーフレット作成のための検討を行いたい。 | | |
| | 【30年度実績】 | ●出前授業、出張説明などで史実に忠実な説明を実施した。 ●ネガティブイメージを払拭するようなリーフレットについて、内容の検討を市内部で行った。 | | |
| 課題・今後の取組 | 【課題】 | ■出前授業・出張説明以外への普及が必要である。 | | |
| | 【今後の取組】 | ■各出版物及び県内外での講演会において、正しい史実の普及に努める。 | | |
| 事業評価 | 【事業の達成度】 | ◇計画どおり、目標を達成できたことからBとした。 [a ● b ● c] | | |
| | 【事業実施の効果】 | [a ● b ● c] | | |
| | 【総合評価】 | [A ● B ● C] | | |

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。